

朝鮮を見るの態度

○我國の技術關係團體の年中行事としては各専門に渡り實に多數の權があるが、中でも我が帝國鐵道協會の總會の如きは實に平和な、而して紳士的な會合で、而してまことに無邪氣な旅行である。

○何處でも總會さか何さか云ふさ口角泡を飛ばして自己の存在を吹立てる様な人があるものだが、第一に國澤會長のあの司會ぶりが如何にも無邪氣である、場所ズレのしないあの純な態度に對しては會員の誰もか何さも揚足の取り様がない。

○百人からの評議員を二分間程に改選する内部の手筈は會員に對して餘り好感を與へないが、會長の司會者たる態度に對しては一同唯莞爾たるのみであつた。

○雄辯さ云ふものは必ずしも能くシャベル事のみではない、誠意の溢るるもの、國澤會長の司會ぶりは純情の勝利さでも見るべきであらう。

○朝鮮の工事は日本の工事である、即ち我々現在の工事生活を離れては其所に何物もない。

○我々は朝鮮人から特種の工事を求めやうさか、朝鮮人から獨特な施工法を知らうなご、思はないが、唯餘りに其工事の不振なるに驚く。

○工事は必ず其國民生活の文化的事業さ併行すべきものであるから、朝鮮の現在文化が尙ほ如何に幼稚なものであるかが知れる。

○朝鮮の現状を見て、其が我國の一部さして其所に我々は如何に多くの實行しなければならぬ問題があるかを知る。

○然し日本内地にも多くの文化的施設工事の實行問題が迫つてをる、そして其が常に豫算難で行詰つてをる。

○何事も先立つものは金であり、朝鮮開發も勿論先立つものは資本であらうが、先づ資本を活用すべき人物が果して如何なる信念を持つてをるか。

○明治の初年から朝鮮に關しては我國が多大の犠牲を拂ひ、名譽ある先輩の努力は何れも政治的、外交的に非常なる苦心であつた。

○今日の朝鮮は教育さ産業さを以て臨まねばならぬが、其根底をなす必要なものは必ずしも資金のみではない。

○歐州人がアメリカを初めて開發する時に彼等は如何に勤勞した事であらう、如何に宗教的な眞面目な努力が拂はれた事であらう。

○歐州人の此の敬虔なる勤勞が數十年後の今日大アメリカを造つたのである。

○朝鮮にだつて必ず枯木寒林のみではない、地下にも地上にも相當な富源は埋藏されてをる。

○唯之を開拓すべき實行の人が果して敬虔なる勤勞に耐へてをるか何うか。

○征服者が被征服者に臨む舊式な態度は今日の朝鮮には少しも見えない様であつたが、唯敬虔なる勤勞がもつさ愆しい。

○我々が見る處では全部の朝鮮人は尙ほ生活程度が甚しく低い、斯の如き中に在つて文化の中樞を握り、文化開拓の事業に精進する内地人は總てが、一種の教育者であり、一種の宗教家でなくてはならない。

○朝鮮の道路工事、河川工事、港灣工事、干拓工事、鐵道工事等總ては内地人が到る處に朝鮮人さ應接するの工事である。

○此等工事技術者は少くとも自分が彼等に對して教育者であり、宗教家であるの信念が必要である。(岡崎生)